



46  
まいん

# しかもりしょうがっこうあと 鹿森小学校跡

山の小学生  
待ちに待った列車通学



鹿森社宅全景 (○印が小学校、その右側はグラウンド)  
撮影年不詳 別子銅山記念館所蔵

## しかもりしょうがっこう 鹿森小学校

は、大正6年(1917)に私立住友惣開小学校鹿森分校として出発しました。

第二次世界大戦中の昭和17年(1942)に、井華東平初等小学校鹿森分教場と改名し、在校生数102名、学級数3学級でした。

戦後の昭和29年に、別子学園東平小学校鹿森分校と改名し、在校生数78名、学級数3学級でした。

昭和36年の4月1日に公立へ移管され、新居浜市立角野小学校鹿森分校と改名し、在校生数78名、学級数3学級でした。

私立学校時代の44年間に、男子753名、女子687名の計1,440名が卒業しています。

しかし、閉山間近の昭和43年には、在校生数9名の複式学級となり、昭和45年に閉校となりました。その際在籍していたのは2名で、その児童は本校となる新居浜市立角野小学校へ転入となりました。

鹿森小学校では、1学年1クラス編成で、3年生になると分校の卒業証書もらい、4年生として角野小学校へ通いました。通学は、下部鉄道を利用した列車通学でした。鹿森小学校の児童は4年生からの列車通学を楽しみにしていました。



現在は門柱のみ残っている



© HATSUTARO HIWASA 1990

当時流行していたフラフープで遊ぶ小学生  
昭和34年(1959)撮影 日和佐初太郎氏撮影

小学校のグラウンドは、ちょうど社宅一棟分の敷地で長さ50メートル弱、幅が12メートルという長方形で、トラック1周が約85メートルくらいでした。バレーボールコートは一面取れましたが、ソフトボールは三角ベースしか出来ない狭さでした。

鹿森地区では、秋の運動会と鹿森神社のお祭りが2大行事でした。そのグラウンドで行われた運動会は、小学校の運動会としてではなく、自治会主催の各区による対抗運動会でした。後ろから押ししたり、横にはね飛ばして、石垣にぶついたりする、一日中笑いのたえない楽しく、なごやかなものでした。

現在は、門柱が緑の中に静かにたたずんでいます。

